

深大寺第88世 張堂完俊山主(さんす)を偲ぶ

深大寺第88世 張堂完俊山主(さんす)が、6月3日ご逝去された(享年72)。張堂さんは、1948年、福島県須賀川市生まれ。2011年の東日本大震災の時は、生まれ故郷が被災して、現在まで復興支援に尽力された。1966年に深大寺に随身。85年から執事を務められ、2008年に第88世住職に就任された。2017年9月15日には、深大寺にある銅造釈迦如来倚像(白鳳仏)が国宝に指定され、5月21日に実施された古式ゆかしい奉迎式は、記憶に新しい所である。

調布市民放送局は深大寺並びに張堂ご住職に取材・撮影をお願いし、多くの事を教えて頂いた。取材で感じた事を含め幾つかご紹介致します。

現在は、コロナウイルスの影響で観光客が少ないが、コロナ前には、深大寺は世界各国から多くの観光客が訪れていた。海外からもそれだけ魅力のあるお寺だったのだが、その観光客が必ず食したのが、深大寺のお蕎麦だった。深大寺蕎麦を深大寺で作ろうと、一味会や蕎麦の学校を通じて深大寺蕎麦を復活された。また、『深大寺そば学院』の学院長を住職自ら務められ、そばづくりを通して、仏教の作法や精神を教えられた。

深大寺では、日本伝統文化である能楽の普及を目的に、シダックス(株)と共に1989年から「深大寺薪能」を開催している。昔お寺は、寺小屋と言って子どもが遊びながら学ぶ所だった。その延長線上で、2010年から「深大寺こども薪能」を始めて、伝統文化を学ぶと共に、人としての礼儀作法を学ぶ場として提供された。

昔、何か困ったことがあった時、相談に乗ってくれる駆け込み寺があった。オレオレ詐欺など特殊詐欺の被害を防止しようと警視庁調布署と深大寺は被害に遭われた方の駆け込み寺として、情報提供に関する覚書を結んだ。張堂ご住職は、府中刑務所教誨師や警察大学校講師も務められた。

1988年から深大寺境内で東京消防庁音楽隊によるナンジャモンジャ防災コンサートが開催されている。また、文化財の消防訓練にも深大寺を提供されている。

張堂ご住職は積極的にお寺の場を社会のために提供された。また、調布FMの役員や調布市観光協会の顧問を務められ、地域への貢献も大きかった。次から次へと思い出される。巧みな話術で、私たちを導いてくださった。本当にありがとうございました。合掌

(編集部)

コロナの夏、大雨や台風など「3密」を避ける避難所対策は？

昨年10月の台風19号では、65年の調布市政で初めて避難勧告が発令された。市内では自主避難所5カ所、指定避難所13カ所が設営され約6500人が避難。避難する人が多く、学校の体育館だけでなくグリーンホールや文化会館たづくりも急遽、避難所として開放された。中でもグリーンホールは2階の通路までいっぱいになり、その混雑ぶりが目立った。さて、今年はコロナウイルス感染拡大防止のために、避難所での「3密」を避ける対策が各自治体の急務となっている。総合防災安全課主査の三浦義博氏に避難所内での感染防止対策を具体的に聞いた。

①避難所開設訓練:7月15日(水)に国領小学校体育館、7月22日(水)に富士見台小と第二小、7月29日(水)に第三小でいずれも午後1時30分から開催。1軒の間隔を取り、1家族用に3㎡の避難場所を作る。パーティションを使って飛沫感染を防ぐ②受付での発熱チェック:非接触型体温計を使い37.5度以上の人は、体育館内の別のスペースに誘導する。ペットは館内に入れない③避難所での段ボールベッド:市ではサクラパックス(本社:富山市)と災害協定を結んでおり、必要に応じて段ボールベッドを提供する④指定避難場所の増設:昨年の13カ所から15カ所に増やす。グリーンホールも指定避難場所とする。

最後に三浦氏は「洪水ハザードマップは命を守る参考書です。災害発生の前にこのマップで近くの避難場所を確認して欲しい」と強調した。(大泉洋一)

2020年7月 番組表



<調布市民放送局の番組を見ることができます>

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組	月	火	水	木	金	土	日
	8:55 17:55						

1日 ① オンライン音楽祭「@調布国際音楽祭2020」Zoom 記者会見
今年開催予定だった「第8回調布国際音楽祭」が新型コロナウイルス感染拡大防止を受け中止。オンライン音楽祭の実現に向けて、Zoom 記者会見が行われました。



15日 ② リトルギャラリー:「刺繍で織りなす、小さな世界」
猫のしっぽと針仕事さんの、リネンやコットンなどの自然素材に刺繍を施したリングピローを中心に、白糸刺繍の技法を駆使して作られた布小物を紹介します。

16日 特別番組「国宝 深大寺白鳳仏の奉迎式」
～6月3日に逝去された深大寺ご住職張堂完俊さんを偲んで～
いつも観光客で賑わっている深大寺は、今はコロナウイルスの影響で閑散としています。2017年5月21日(日)に行われた「白鳳仏」の奉迎式の模様と現在の深大寺周辺の様子をお送りします。



ラジオ 「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)

調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！

月	放送日	内容	ご紹介
7月	6日(前編) 13日(前編再放送) 20日(後編) 27日(後編再放送)	ゲスト: 鈴木優人氏	@調布国際音楽祭エグゼクティブプロデューサー、指揮、ピアノ、オルガン、作曲、パッハ・コレギウム・ジャパン 首席指揮者、前編は、調布国際音楽祭について後編は、鈴木優人さんについてお話を伺いました。

HP 新型コロナウイルスの影響で家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見てくださいませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

調布市民放送局で検索

- <http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP) (すべての番組2015年～現在まで)
- <http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)(2004年4月～2015年3月)
- <https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局)(2015年～)



コロナに便乗した、個人情報や暗証番号の詐取に注意

新型コロナウイルス感染症に便乗して家族の個人情報やキャッシュカードの暗証番号等の詐取に注意。「市区町村や関係各省が個人情報を電話や郵便、メール等で問合わせることはありません。不審な電話やメールがあった時は警察に連絡して下さい」と、調布警察署(電話042-488-0110)が注意喚起。

感染防止に配慮して 夏の熱中症対策に注意

夏は熱中症による救急搬送が多い。コロナの影響でマスクの着用やステイホームで自宅にすることが多い。「感染症対策に配慮して熱中症対策も忘れずに」と、調布消防署(電話042-486-0119)。ポイントは①早めにこまめに水分補給②帽子や日傘で日差し対策③部屋では風通しを良く。この3点に気を付けて。



<FC東京 応援記>

いよいよJ1リーグも再開！当初はリモートマッチ(無観客試合)からだが、私たちはどこにいても、魂はFC東京と共に。

With hope in your hearts And you'll never walk alone you'll never walk alone

<ご意見・ご感想をお待ちしています> ●メール catch@chofu-catch.sakura.ne.jp ●☎070-5576-1429

●郵便〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター気付

〔編集・発行〕NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14